

取扱説明書

この商品は家庭で調理をするために使うものです。
使用の際には取扱説明書をよく読んでから使用してください。

不適切な取扱いには事故につながります。

使用する方はこの取扱説明書を必ず保管してください。

使用上の注意

警告

●調理中に油煙が多く出たら加熱をやめてください。油が着火し、火災の危険があります。また、調理中(加熱中)にその場を離れる際は必ず加熱をやめてください。



注意

- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 煮物や湯沸かしなどには使用しないでください。鍋の発生原因になります。
- 天ぷらなどの揚げ物料理には使用しないでください。油に引火する恐れがあります。下記から天ぷらで油を使用する際は、油の温度は 200℃以上にしてはいけません。油の過熱による火災の危険があります。
- 調理中の油の着火は火災の原因になります。万一、誤って空焚きをしてしまった場合は、水などで急に冷やせず自然に冷やしてください。空焚きは火災や本体の変形、取っ手の破損や火傷の原因になります。万一、誤って空焚きをしてしまった場合は、水などで急に冷やせず自然に冷やしてください。
- 取っ手がゆるんだ状態で使用すると脱落して火傷の危険があります。※フックにドライバーなどを差し込み締め直してください。締めつてもゆるみがある場合は使用を中止してください。
- 製品の破損や取っ手のフタつきに対して、改造や応急処置などの手当てをして使用することは危険ですのでやめてください。
- ストーブの上や七輪などの灰火には絶対に使用しないでください。落下や異常過熱による火傷の危険や製品の破損原因になります。
- 本体は加熱機器の中央部に兼せ、安定させた状態で使用してください。
- フタまで内容物を満たした状態で使用しないでください。また、ふきこぼれないようご注意ください。
- 調理後など熱いときに、紙などの燃えやすいものの上には置かないでください。
- 加熱中や調理中は本体や取っ手が熱くなりますので、火傷に十分注意してください。つかい際は指づつまみやふんずんを用いて、すべらないようしっかりと握ってください。また、乳幼児は遠ざけ、絶対に手を触れさせないでください。
- 本体が熱い状態では急に水につけたりして冷やさないでください。変形の原因となります。
- ガスコンロで使用する場合、炎が本体の底面からはみ出さないよう火力を調整してください。また、隣接する別のコンロの火が取っ手にあたらないよう向きを調整してください。
- 電磁調理器(HIクッキングヒーター)で炒めをする場合、油の量が少なく油温が急激に上昇し着火する可能性があります。火災や火傷など十分注意してください。
- 最段ご使用の加熱、火力は中(中火)以下で使用してください。特に電磁調理器をご使用の場合、最大火力で加熱すると本体の破損原因となり、火傷や火災などの事故につながる恐れがあります。また、加熱中にブーンやジーといった音が生じることがありますが、これは本体が振動し、共振しているため製品の異常ではありません。
- オーブン・電子レンジでは使用しないでください。
- 予熱をする際の手は必ず厚い(厚手)で行ってください。強(強火)での予熱は本体の変形などの破損原因になります。※電磁調理器をご使用の場合、本体を温めた後、内部でも急激に温度が上昇するため十分注意してください。
- 調理後など、内容物を他の容器に移す際は本体外面への伝い熱や、飛び散りによる火傷に十分注意してください。
- 落下などの強い衝撃を与えないでください。変形などの破損原因となります。●本体側面は若干の色ムラや縦方向にスジがありますが、これは製造段階において発生します。製品性能や衛生面には影響ありません。
- 材質の性質上、加熱により本体が青く変色する場合があります。(紅色に見える場合もあります。) これに加えてよって本体表面に酸化してできた膜(酸化被膜)です。製品の不具合ではなく、衛生上問題ありません。
- アークの強い食材(こぼれなど)を炒めた場合には食材が黒く変色する場合があります。これは食材に含まれるタンニンが酸と反応した結果であり、製品の不具合ではありません。



注意



注意



注意



注意



※製品仕様は予告なく変更することがあります。

〔シリコン焼付塗装について〕

- この商品は流通段階での錆防止および最初の使いやすさのため、表面に食品衛生法に適合する人体に無害な塗膜を施してあります。この塗膜は使用を重ねるうちに徐々に塗膜・磨耗していきます。永久に付着しているものではありません。万一、この塗膜を食べてしまった場合でも人体には吸収されることなく、体外に自然排出されます。
 - 煮沸消毒はしないでください。
 - 塗膜はまだまだ剥離する場合がありますが、製品性能や衛生上の問題はありません。
 - 塗膜を取り除くためのカラ焼きは必要ありません。
- ### 使用前の準備
- ご使用前には必ず、各部に異常のないことを確認してください。各部にガタつきや変形などが生じている場合には使用しないでください。
 - 製品に貼ってあるシールおよびラベルなどは剥がしてください。また、最初にご使用の際は、柔らかいスポンジなどに食器用中性洗剤を付け、お湯で十分に洗い流してから使用してください。
 - 加熱機器の注意事項をよく読んで正しくお使いください。
 - 品質には万全を期しておりますが、万一、不具合などがあつた場合やご不明な点がありましたら(株)タニタにお問い合わせ先までご連絡ください。

お手入れ・保管について

- 使ったままにしておきますと錆びる場合があります。使用後は食器用中性洗剤を付けて、柔らかいスポンジで洗ってください。次に水気を拭き取ってから、弱火で加熱して乾燥させてください。その後本体が十分に冷めたら食用油を薄く塗って保管してください。
- 食器洗浄機などでは洗浄しないでください。鍋の発生や取っ手の腐食原因となります。
- 塩分や酸などを含んだ汚布を付着させず、又は濡れたまま放置したり、湿気の多い場所での保管は錆の発生原因になります。
- 調理後は本体内で調理物を保存せず、別の容器に移してください。錆の発生原因となります。
- 使用しているうちに錆が発生した場合には、錆の発生部分にクレンザーを付け金たわしでこすり落としてください。
- こげつきなどを落とす場合は、金属製の固いものなど傷つきやすいものは使用せず、本体を熱湯に浸してこげつきを柔らかくしてから取り除いてください。このとき火傷などには十分注意してください。
- 手の届きにくい高所には保管しないでください。取り出し時落下する危険があります。
- 使用後のお手入れに油に染みい布などで本体を拭きまわすと、その布が薄黒くなる場合があります。これは加熱によって本体表面に酸化してできた膜(酸化皮膜)が取れたもので、衛生上は問題ありません。

鉄製品を上手に使用するポイント!

- ご使用の際は、本体から少し煙が出るまで温めて食材を入ると、こげつきにくく、食材のうまみを閉じ込めるので、おいしく仕上がります。
- 使い始めは油がなじんでいないため油慣らしとして多めの油を入れてよく温め、一旦空けたら油量を調節してご使用ください。
- こげつきが落ちるタイミングで錆が発生した時、また表面塗膜が剥離した場合には、クレンザーを付け金たわしでこすり落とすしてください。以後、通常のお手入れ方法を守っていただく、前と後それぞれご使用できます。
- ※鉄は丈夫で、耐熱性と保温性に優れ、料理により鉄分の溶出が期待できる、調理に最適な素材です。鉄自身は錆びやすくて、使い込んでも油がなじむことによって、どんどん錆びにくくなっていきます。基本的なお手入れさえすれば、いつまでもご使用いただける最高の道具となります。

品質表示

材料の種類 / 本体: 鉄 (底の厚さ1.6mm)
取っ手: 天然木
表面加工 / 本体: シリコン焼付塗装
寸法: 28cm

MADE IN JAPAN